

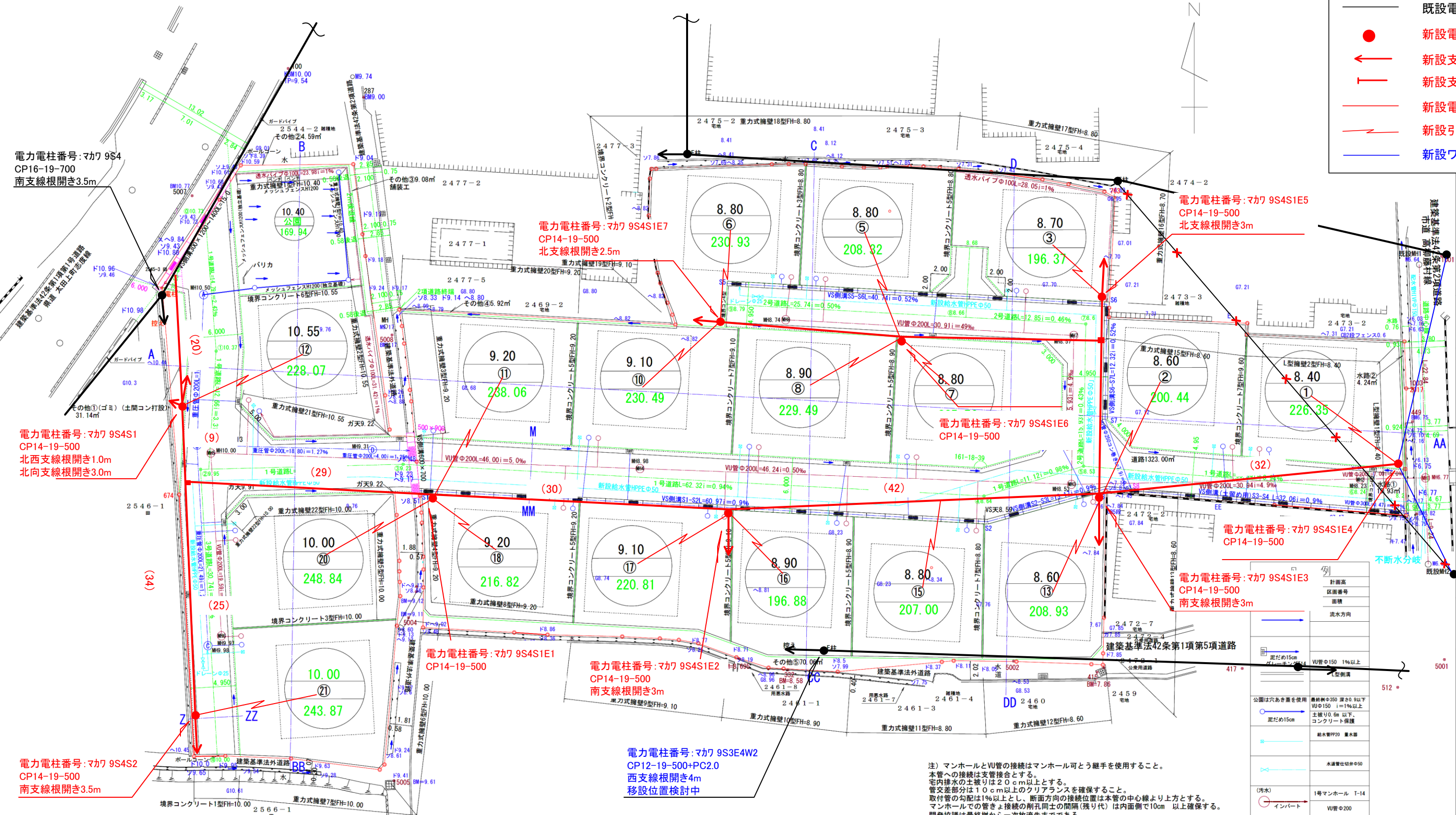
土地の所在

さぬき市志度字花池尻2469-1、2470、2471、2472-5、2473-1、2545-1及び地先農道・水路

土地利用計画図

アイタウン志度Ⅲ_電柱配置(案) 2026.4.13更新

- 既設電柱
- ← 既設支線
- ┆ 既設支柱
- 既設電線/ワイヤー
- 新設電柱
- ← 新設支線
- ┆ 新設支柱
- 新設電線
- 新設引込線
- 新設ワイヤー



電力電柱番号: マカ7 9S4 CP16-19-700 南支線根開き3.5m

電力電柱番号: マカ7 9S4S1 CP14-19-500 北西支線根開き1.0m 北向支線根開き3.0m

電力電柱番号: マカ7 9S4S2 CP14-19-500 南支線根開き3.5m

電力電柱番号: マカ7 9S4S1E7 CP14-19-500 北支線根開き2.5m

電力電柱番号: マカ7 9S4S1E6 CP14-19-500

電力電柱番号: マカ7 9S4S1E5 CP14-19-500 北支線根開き3m

電力電柱番号: マカ7 9S4S1E4 CP14-19-500

電力電柱番号: マカ7 9S4S1E3 CP14-19-500 南支線根開き3m

電力電柱番号: マカ7 9S4S1E1 CP14-19-500

電力電柱番号: マカ7 9S4S1E2 CP14-19-500 南支線根開き3m

電力電柱番号: マカ7 9S3E4W2 CP12-19-500+PC2.0 西支線根開き4m 移設位置検討中

注) マンホールとVU管の接続はマンホール可とう継手を使用すること。
 本管への接続は支管接続とする。
 管内排水の土被りは20cm以上とする。
 管交差部分は10cm以上のクリアランスを確保すること。
 取付管の勾配は1%以上とし、断面方向の接続位置は本管の中心線より上方とする。
 マンホールでの管きよ接続の削孔同士の間隔(残り代)は内側で10cm以上確保する。
 開発協議は最終樹から一次放流先までである。
 街路樹の放流管は樹の角を穴あけしないこと、管を曲げないこと。
 予定建物の用途は(一戸建て住宅)とする。
 開発区域において構造物がない所には境界線等の開発標識にて区域界の表示とする。
 本管上での取付間隔は1m以上確保すること。
 図面内の高さの表記は任意高さとし、KBMで標高(T.P.表示)換算している。
 電柱を開発道路内に設置しない。
 施工前に地下埋設物の確認を行うこと。
 本開発区域に隣接して本開発許可の完了公告日からみなし年数以内に開発行為を行う場合及び本開発区域内の公共施設を変更する場合は、建築指導課と協議すること。
 開発区域内の法定外水路については構造のみ審査対象とする。放流の同意については管理者と十分に協議を行うこと。
 30cm未満の高低差に用いる土留め型は、審査対象外であるので設計者の判断による。

月 日

申請者 アイラックホーム株式会社 代表取締役 増元 浩一

作成者 住所・氏名 高松市仏生山町甲2130番地1 土地家屋調査士 岡野上 竜二

縮尺 1 : 400

記号	説明
●	既設電柱
←	既設支線
┆	既設支柱
—	既設電線/ワイヤー
●	新設電柱
←	新設支線
┆	新設支柱
—	新設電線
—	新設引込線
—	新設ワイヤー

記号	説明
○	計画高
□	区画番号
▭	面積
→	流水方向
○	定ため15cm
○	VU管φ150 1%以上
○	L型側溝
○	公園は穴あき蓋を使用
○	VU管φ200 深さ1.0m以下 土被り0.6m以下、コンクリート保護
○	定ため15cm
○	給水管PP20 量水器
○	水漏れ防止切弁φ50
○	(汚水) 1号マンホール T-14
○	インバート VU管φ200
○	(汚水) 最終側溝φ200 深さ1.0m以下 VU管φ100 1%以上 土被り0.6m以下、コンクリート保護
○	インバート
○	(汚水) 1号マンホール T-14
○	専任管管φ200 VU管管φ250